

ウンカ類情報第6号（水稻・トビイロウンカ）

令和4年9月12日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

県内複数地点の水田でトビイロウンカの短翅型成虫が確認されています

1 発生状況

9月上旬に県内12地点43ほ場で実施した追加調査（払落し調査）において、**東浦町、岡崎市及び豊川市の水田でトビイロウンカの短翅型成虫が捕獲されました。また、豊田市及び岡崎市では長翅型成虫や幼虫も新たに捕獲されています（表）。**

2 生態

トビイロウンカの成虫には翅の長さによって長翅型（図1）と短翅型（図2）があり、短翅型は長翅型と比べて、飛ぶことができない代わりに産卵数がやや多く、増殖しやすい特徴があります。

短翅型成虫が発生している場合、防除が十分にされていないと次世代で個体数が急増し（図3）、坪枯れを引き起こす恐れがあります。普通期水稻などの9月下旬以降に収穫するほ場では、ほ場内をよく観察し、発生を確認したら速やかに防除しましょう。薬剤は9月2日発表の「ウンカ類情報第5号」を参照し、収穫前日数に注意して使用してください。また、収穫の近いほ場で発生が確認された場合は、できるだけ早く収穫しましょう。

表 本田調査におけるトビイロウンカの発生状況

月日	調査地点(発生を確認したほ場数)	頭数		備考
		成虫	幼虫	
8月9日～ 8月30日*	長久手市(1)、岡崎市(3)、豊田市(2)、 新城市(2)、豊川市(2)、豊橋市(1)	11	5	
9月5日	豊川市御津町(1)	1		短翅雌
	豊田市黒田町(1)	1		
9月6日	岡崎市桑谷町(2)	3	1	うち短翅雌2
	東浦町(1)	1		短翅雄
	計	17	6	

*過去の調査の詳細は9月2日発表の「ウンカ類情報第5号」を参照してください。

1ほ場で複数頭確認されているほ場があります。



図1 長翅型成虫



図2 短翅型成虫



図3 株元で増殖したトビイロウンカ